

ホタテ健康壁

「あわせシリーズ」

あわせ工法

「エコ・あわせ」

内装下地専用紙シート

(ローラー、コテ、吹き付け共用)

施工要領書

本要領書をよくお読みいただき施工手順に従って施工してください



株式会社ブルーム

本製品の品質向上のため改良する場合があります。それに伴い、予告なく仕上げ要項を変更することがございます。最新の施工要領書をご準備くださる様お願いいたします。

平成 26 年 2 月 1 日改訂

施工要領書

「エコ・あわせ」は、左官及び塗装用の内装下地シートです。

施工方法は、通常の壁紙やクロス貼りと基本的に同じです。施工に使用するパテや接着剤なども、壁紙やクロスと同じです。

「エコ・あわせ」は、ザラザラ面とツルツル面があります。**コテ仕上げの場合は塗材との付着強度が強いツルツル面に塗材を塗ってください。ローラー／吹き付け仕上げの場合は、風合いに違いが出ますので、好みによって貼り分けることも出来ます。**（仕上がり感：ザラザラ面は和風調、ツルツル面は、プレーンな仕上がりとなります。）

但し、湿式工法(水で練る工法)である塗り壁材を使用しますので、以下の要項に注意して、下地シート貼り施工をしてください。

準備

下地の汚れや塵・ホコリなどは必ず取り除いてください。

石膏ボードなどの継ぎ目の部分には、パテ処理を施してください。

ビス止め部分も、すべてパテ処理を施してください。

(下塗りと仕上げの2回パテ処理をしてください。)

パテ処理の際、ビスや釘には錆止めを塗るか、ステンレス製のものを使用してください。

また、パテが完全に乾いた後、パテ用ペーパーで平滑にしてください。

施工

石膏ボードなどの下地材に「エコ・あわせ」を全面ムラなく貼り付けてください。

入隅部

- ・ 入り隅部では、「エコ・あわせ」の回し貼りをしないで、カットしてご使用ください。

入隅部を出隅部のように回し貼りをしない理由は、経年後、木材の乾燥、建物の歪などで、入隅部に隙間やズレが生じるとシワになり、補修など難しくなります。

- ・ 付き合わせる下地間に2mm以上の隙間がある場合は、ボードとボードの間にボンドコークを入れて、平滑にしてください。

出隅部

- ・ 出隅部は、回し貼りにしてください。

ジョイント部

- ・ 「エコ・あわせ」のジョイント部は、クロス貼りに使用する**カットテープ**を付けて、重ね合わせ、カッターなどでカットしてください。また、**ジョイント部は、目地用ローラー**でよく押さえ、**ジョイント部の接着力を高めてください。**
- ・ コテ仕上げの場合、塗り厚が2mm以下の薄塗りの場合は、上記のように重ね切りをお勧めしますが、厚塗りの場合は、突き付けでも構いません。また、突きつけの箇所は、目地用ローラーでよく押さえ、ジョイント部の接着力を高めてください。

- * 但し、**強アルカリの上塗り材(漆喰など)**を塗られる場合、石膏ボード中の石膏迄カットしてしまうと、石膏が化学反応を起こし、上塗り材が侵されることがあります**念のため、下敷きなどを当ててジョイント部をカットしてください。**
- * ジョイント後、「エコ・あわせ」の上に糊が付着した場合、ビニールクロスのように、水を含んだスポンジで何度も擦らないで下さい。スポンジは、固く絞りサッと拭くだけでかまいません

平面部

- ・ 「エコ・あわせ」のジョイント部は、下地石膏ボードなどの継ぎ目やパテ処理部と重ならないよう、10cm 以上離してください。
- ・ 全体の圧着には、クロス専用のハケベラを使用し、**最後にスムーザーを使い、絶対に空気が残らないようにしてください。**空気が残ったまま塗材を施工すると後に、ひび割れや膨らみなど、クレームの原因になります。
- ・ 真壁の場合は、特に経年後、チリ回りがやせたり、「エコ・あわせ」が反らないように、チリ回りや端部はしっかりと糊を付けて、ローラーなどで押さえ、接着力を高めてください。(「エコ・あわせ」施工後に、ボンドコークを入れるのも効果的です。)
 - * 枠廻り、廻り縁、巾木なども同様です。

注意事項

- ・ 貼り付け時に**空気や塵・ほこり**など入らないように注意してください。
- ・ パテ部分を平滑にして、磨いた粉も取り除いてください。
- ・ 糊を希釈する時は、クロスを貼る場合より、**2割程度濃い目**にしてください。
- ・ 糊は糊付機を使い、クロスを貼る場合より多めに付けてください。

特に、端部は注意してください。

- ・ 糊付け後のオープンタイムは、夏場 5 分、冬場 10 分程度を目安として現場の状況に合わせて調整してください。
- ・ 糊の付け置きは、一度にあまり多くしないで下さい。
- ・ 下地がモルタル、珪カル板、コンパネなどの場合は、適切なシーラー（アク止めシーラーかシーラーバインダー等）を塗布してください。
- ・ 貼り付け後は、中1日程度養生期間を設け、糊が完全に乾いたこと、また空気の入っている箇所がないかを確認後、仕上げ材を上塗りしてください。

* リフォーム工事の場合

既設のビニールクロスを剥がすと、クロスの裏紙が残ることがあります。石膏ボードなどの下地にしっかりと付着している裏紙はそのままで良いですが、ペラペラと剥がれかけの裏紙や、空気が入っている裏紙は、すべてキレイに剥がして、平滑になるようパテ埋めを施してください。

接着剤

- ・ デンプン系水溶性接着剤
 - 。 ルーアマイルド、ウォールボンド 100(ゼロホルマリン)など

下地調整補助材

- 。 推奨プライマー・シーラー： ノボクリーンシーラー（大日本塗料㈱）